

教科	国語	学年	第2学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標（小単元のねらい）	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
一、「見えないだけ」「意見を聞き、整理して検討する」「アイスブラネット」「単語をどう分ける？/文法1 自立語」「漢字に親しもう1」	11	◎ 語句について理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 ◎ 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。 ◎ 情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使うことができる。 ◎ 文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定のしかたなどを捉えることができる。 ◎ 小説を読み、引用して解説したり、考えたことなどを伝え合ったりする。 ◎ 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。 ◎ 目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討することができる。 ◎ 説明や提案など伝えたいことを話したり、それらを聞いて質問や助言などをしたりする。 ◎ 単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解することができる。	・語句について理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。 ・文や文章の中で漢字を読んだり書いたりしている。 ・意見と根拠を区別して捉え、適切な根拠の在り方について理解を深めている。 ・自立語にどんな品詞があるかを知り、それぞれが文の中で果たす役割について理解を深めている。	・「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定のしかたなどを捉えている。 ・発言者の立場を踏まえ、それぞれの意見と根拠を整理して考えをまとめている。	・進んで語感を磨き、今までの学習を生かして朗読しようとしている。 ・登場人物の設定のしかたなどを積極的に捉え、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。 ・学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。 ・進んで意見と根拠の関係を整理しながら聞き、今までの学習を生かして根拠の適切さなどについて検討しようとしている。 ・学習課題に沿って、積極的に自立語について理解を深めようとしている。
二、「魅力的な提案をしよう」「枕草子」「クマゼミ増加の原因を探る」「点画の省略『積雲』」「筆順の変化『紅花』」	11	◎ 言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づくことができる。 ◎ 自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫することができる。 ◎ 資料や機器を用いるなどして、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫することができる。 ◎ 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。 ◎ 説明や提案など伝えたいことを話したり、それらを聞いて質問や助言などをしたりする。 ◎ 作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しむことができる。 ◎ 現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知ることができる。 ◎ 文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 ◎ 古典作品などを読み、引用して解説したり、考えたことなどを伝え合ったりする。 ◎ 随筆を創作するなど、感じたことや想像したことを書く。 ◎ 情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使うことができる。 ◎ 文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係などを捉えることができる。 ◎ 文章と図表などを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈することができる。 ◎ 報告や解説などの文章を読み、理解したことや考えたことを説明したり文章にまとめたりする。 ◎ 漢字の行書の書き方（点画の省略）を理解して、読みやすく書くことができる。 ◎ 漢字の行書の書き方（筆順の変化）を理解して、読みやすく書くことができる。	・相手が自ら行動したいと思えるような言葉や表現を用いることを意識している。 ・古典の文章独特の調子やリズムを意識して音読している。 ・現代語訳や語注を手がかりに「枕草子」を読み、作者のものの見方や考え方を捉えている。 ・文章を構成する六つの部分の関係を図式化して整理している。 ・漢字の行書の書き方（点画の省略）を理解して、読みやすく書くことができる。 ・漢字の行書の書き方（筆順の変化）を理解して、読みやすく書くことができる。	・重要なことが効果的に伝わるように話の構成を工夫している。 ・プレゼンテーションソフトやフリップなどを用いて、提案内容が視覚的にもわかりやすくなるよう工夫している。 ・作者の考えと自分の考えとを比較し、感じたことをまとめている。 ・生活を振り返って、自分ならではの季節感を表すものを見つけている。 ・季節感を表すものについて、その様子が具体的に想像できるような、語句や表現を選んで書いている。 ・筆者の主張を捉え、それと仮説1～3との関係を理解している。 ・文章中の図表やグラフが何のために示されているのかを、対応する文章を基に考えている。 ・毛筆で「積雲」を書くなかで、行書の書き方<点画の省略>を確かめている。 ・進んで行書の書き方（点画の省略）を理解し、学習課題に沿って「積雲」を書こうとしている。 ・毛筆で「紅花」を書くなかで、行書の書き方<筆順の変化>を確かめている。	・自分の考えがわかりやすく伝わるように粘り強く表現を工夫し、学習の見通しをもってプレゼンテーションをしようとしている。 ・文章を読んで理解したことや考えたことを進んで知識や経験と結び付け、学習課題に沿って自分ならではの季節感を表す文章を書こうとしている。 ・積極的に文章と図表などを結び付けて内容を解釈し、学習の見通しをもって考えたことを話し合おうとしている。 ・進んで行書の書き方（筆順の変化）を理解し、学習課題に沿って「紅花」を書こうとしている。

三、「情報整理のレッスン」「情報を整理して伝えよう」「短歌に親しむ」「漢字1 熟語の構成」「言葉の力」	14	◎情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使うことができる。 ◎情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使うことができる。 ◎目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。 ◎多様な考えができる事柄について意見を述べるなど、自分の考えを書く。 ◎熟語の構成を意識しながら、漢字を読んだり書いたりできる。 ◎抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 ◎観点を明確にして短歌を比較するなどし、表現の効果について考えることができる。 ◎短歌を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 ◎表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる短歌になるように工夫することができる。 ◎本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かすことができる。 ◎文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	・問題1～3に取り組み、情報どうしの関係を図で表している。 ・集めた情報を表や図にまとめ、整理している。 ・熟語の構成を意識しながら、漢字を読んだり書いたりしている。 ・情景などを表す語句に着目して作品を読み深めている。また、情景や心情が生生きと伝わる言葉を選んで短歌を創作している。 ・言葉に対する筆者の考え方を捉え、本や文章には、筆者の考え方が書かれていることや、それに触れることで自分の考えを広げたり深めたりできることを理解している。	・知りたいことに適した方法を考え、情報を収集し、収集した情報を分類・整理して自分の目的に合うものを取捨選択している。 ・複数の短歌を比較し、言葉の選び方や順序にどのような特徴や効果があるかを考えている。 ・好きな一首を選び、自分の知識や経験と結び付けて感想を書いている。 ・自分の思いが伝わるように、学習した短歌の形式や表現の工夫を参考にして短歌を作っている。 ・言葉に対する筆者の考え方にについて自分の考えをもち、話し合っている。	・積極的に情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し、学習したことを生かして練習問題に取り組もうとしている。 ・多様な方法で集めた情報を粘り強く整理し、学習の見通しをもって職業ガイドを作ろうとしている。 ・学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。 ・表現の効果について進んで考え、学習の見通しをもって短歌を創作しようとしている。 ・文章を読んで理解したことや考えたことを進んで知識や経験と結び付け、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。
四、「言葉1 類義語・対義語・多義語/漢字に親しもう2」「メディアの特徴を生かして情報を集めよう」「読書を楽しむ」「翻訳作品を読み比べよう」「行書に調和する仮名(いろは歌)」	8	◎抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 ◎意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。 ◎情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使うことができる。 ◎目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得て、内容を解釈することができる。 ◎本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かすことができる。 ◎本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かすことができる。 ◎観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や表現の効果について考えることができる。 ◎文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	・類義語・対義語・多義語の概念について、具体的な例を当てはめて理解している。 ・抽象的な概念を表す言葉について理解し、類義語の微妙な違いを考えることを通して語感を磨いている。 ・メディアが伝える情報の内容とその根拠の適切さに着目している。 ・メディアの特徴を、表や図などにまとめている。 ・活動を通して本の魅力を感じ、今後どんな本を読んでいきたいかを考えている。 ・これまでの読書生活を振り返り、より豊かにするためにできることを具体的に考えている。 ・行書に調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書いている。	・メディアの特徴を踏まえ、情報の信頼性を判断するために必要なことについてまとめている。 ・二人の翻訳者による「星の王子さま」を比較し、表現の違いによる作品の印象の違いについて発表している。 ・翻訳の違いによって作品の印象が異なることを知り、その違いなどについて考えをまとめている。 ・小筆で「いろは歌」を書くなかで、行書に調和した仮名の書き方を確かめている。	・今までの学習を生かして、積極的に類義語と対義語、多義的な語句、抽象的な概念を表す語句などについて理解しようとしている。 ・複数の情報を進んで整理しながら適切に読み取り、学習課題に沿って目的や状況に応じた情報収集のしかたについて考えをまとめようとしている。 ・本や文章などにはさまざまな立場や考え方が書かれていることを進んで理解し、今までの学習を生かして、本の魅力や感想を共有しようとしている。 ・表現の効果について進んで考え、学習課題に沿って二つの翻訳を比べて感じたことを発表しようとしている。 ・進んで行書に調和した仮名の書き方を理解し、学習課題に沿って「いろは歌」を書こうとしている。

五、「ヒューマノイド」「字のない葉書」「表現を工夫して書く」「[推敲]表現の効果を考える」「言葉2 敬語」「聞き上手になろう」「行書と仮名の調和『豊かな森』」	13	◎話や文章の構成や展開について理解を深めることができる。 ◎登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈することができる。 ◎本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かすことができる。 ◎観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や表現の効果について考えることができる。 ◎言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づくことができる。 ◎敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使うことができる。 ◎根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果をjえて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。 ◎言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づくことができる。 ◎敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使うことができる。 ◎読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えることができる。 ◎敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使うことができる。 ◎言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア) ◎論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができる。(思・判・表A(1)エ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にjえて、思いや考えを伝え合おうとする。 ◎行書に調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく書くことができる。	・登場人物の言動や伏線に着目し、それらが話の展開にどのように関わっているのかを考えている。 ・随筆の味わい方について考え、日常の読書に生かせそうな点をまとめている。 ・何かをお願いする文面などにおいて、どのような言葉を選ぶと、相手に引き受けてもらえるかを考えている。 ・相手や目的に応じて、敬語を適切に使って書いている。 ・どのような言葉を選ぶと、相手の行動を促すことができるかを考えて推敲している。 ・手紙を推敲し、適切な敬語に書き改めている。 ・敬語を使う生活場面を想定し、敬語の働きについて理解を深めている。 ・どのように質問をjると、相手がさらに話したくなるかを考えている。 ・行書に調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書いている。	・登場人物の言動の意味について粘り強く考え、今までの学習を生かして作品の印象を伝え合おうとしている。 ・文章の構成や表現の効果について進んで考え、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。 ・自分の考えが伝わる文章になるように積極的に工夫し、学習課題に沿って手紙や電子メールを書こうとしている。 ・進んで文章を整え、今までの学習を生かして手紙を推敲しようとしている。 ・今までの学習を生かして、積極的に敬語の働きについて理解しようとしている。 ・論理の展開などに注意して粘り強く聞き、今までの学習を生かして思いや考えを引き出すインタビューをしようとしている。 ・進んで行書とそれに調和した仮名の書き方を理解し、学習課題に沿って「豊かな森」を書こうとしている。
六、「漢字2 同じ訓・同じ音をもつ漢字/漢字に親しもう3」「モアイは語る——地球の未来」「思考のレッスン1」「適切な根拠を選んで書く」「聴きひたる 月夜の浜辺」「音読を楽しむ 平家物語」「楷書と行書の使い分け」	14	・文脈や言葉の意味に注意して、漢字を読んだり、書いたりしている。 ・筆者の意見(主張)がどのような根拠によって支えられているかを捉えるとともに、より適切な根拠の在り方を理解している。 ・適切な根拠の吟味のしかたを理解して、問題1、2に取り組んでいる。 ・自分の意見を支えるための適切な根拠を選んでいる。 ・詩の中の語句に着目し、詩全体の世界を豊かに想像している。 ・漢語を交えた独特の調子とリズムを捉えて朗読している。 ・冒頭部分の現代語訳や、「平家物語」のあらすじを読んで、「無常観」を感じ取っている。 ・目的や必要に応じて、楷書または行書を選んで書いている。	・文章全体の構成を捉え、意見と根拠の結び付きや論の進め方を吟味している。 ・自分の知識や体験と重ね、筆者の主張に対する自分の考えを文章にまとめている。 ・段落のまとまりを意識して、自分の意見が明確に伝わるよう文章の構成を決めたり、段落の順序を検討したりしている。 ・根拠となる事実を具体的に示したり、想定される反論に対する意見を示したりしている。 ・場面を選んで自分の名前を書く活動のなかで、目的や必要に応じて書体を選択して書くことの必要性を確かめている。	・積極的に同訓異字や同音異義語を理解し、学習課題に沿って漢字を読んだり書いたりしようとしている。 ・論理の展開について粘り強く吟味し、学習の見通しをもって筆者の主張に対する自分の考えを文章にまとめようとしている。 ・今までの学習を生かして、積極的に意見と根拠の関係について理解しようとしている。 ・粘り強く根拠の適切さを考え、学習の見通しをもって意見文を書こうとしている。 ・進んで表現の効果について考え、今までの学習を生かして詩を味わおうとしている。 ・進んで古典に表れたものの見方や考え方を知り、今までの学習を生かして朗読しようとしている。 ・進んで書体を選択して書く必要性を理解し、学習課題に沿って適切な書体を選んで書こうとしている。

七、「扇の的——「平家物語」から」「仁和寺にある法師——」「徒然草」から」「漢詩の風景」「君は「最後の晩餐」を知っているか」「思考のレッスン2」「行書を活用しよう」「季節のしおり」	13	◎作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しむことができる。 ◎現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知ることができる。 ◎登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈することができる。 ◎文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 ◎伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫することができる。 ◎観点を明確にして漢詩を比較するなどし、漢詩の構成や表現の効果について考えることができる。 ◎情報と情報の関係のさまざまな表し方を理解し使うことができる。 ◎観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えることができる。 ◎文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 ◎意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。 ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言	・古典の文章独特の調子やリズムを意識して朗読している。 ・与一や義経の言動、扇の的を射落とした後の人々の反応に着目し、古人のものの見方や考え方を捉えている。 ・現代語訳や語注などを手がかりにして、仁和寺の法師の言動やそれに対する作者のものの見方、考え方を理解している。 ・漢文特有の言葉遣いや調子を意識して朗読している。 ・解説の文章を手がかりにして、詩の作者の思いを想像し、古人のものの見方、考え方について考えを深めている。 ・二つの文章を比較し、それぞれの特徴や共通点・相違点を表に整理している。 ・複数の情報をまとめて抽象化したり、言葉の意味を具体例を挙げて説明したりしている。 ・漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく書くことができる。 ・今までに学習した知識・技能を生かして書いている。	・「扇の的」での与一の言動や「弓を流し」の場面での義経の言動の意味について考え、作品を読み深めている。 ・作者のものの見方について、仁和寺の法師の描き方などを踏まえて考えたことを話し合っている。 ・文章の構成を工夫して、古典の登場人物について論じる文章を書いている。 ・好きな漢詩を選び、気に入った表現や句を引用しながら、構成や表現の効果を伝え合っている。 ・文章の構成や表現の特徴などについて、二つの文章を比較して発見したことを話し合っている。 ・二つの文章を比較したり、書き方の特徴を捉えたりすることで、筆者が文章を書いた意図や目的についての自分の考えを深めている。 ・行書で応援旗やめくりなどを書くなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。 ・季節の言葉をなぞる活動のなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。	・登場人物の言動の意味について進んで考え、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。 ・積極的に知識や経験と結び付けて考えを広げたり深めたりし、学習の見通しをもって登場人物について論じる文章を書こうとしている。 ・進んで漢詩の構成や表現の効果を考え、今までの学習を生かして朗読しようとしている。 ・進んで観点を明確にして文章を比較し、学習の見通しをもって考えたことを文章にまとめようとしている。 ・学習課題に沿って、積極的に具体と抽象の関係について理解しようとしている。 ・進んで習得した知識・技能を振り返り、今までの学習を生かして応援旗やめくりなどを書こうとしている。 ・積極的に習得した知識・技能を振り返り、今までの学習を生かして季節の言葉をなぞろうとしている。
八、「話し合いの流れを整理しよう」「文法2 用言の活用」「立場を尊重して話し合おう」「漢字に親しもう4」「自分らしさ」を認め合う社会へ」「書き初めを書く」	10	◎意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。 ◎互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめることができる。 ◎単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解することができる。 ◎文や文章の中で漢字を読んだり書いたりできる。 ◎本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かすことができる。 ◎文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。 ◎今までに学習した知識・技能を生かして書き初めを書くことができる。	・話し合いで出た意見と意見の間に、どのような関係があるか、整理している。 ・用言の活用形と活用の種類について、語例を基に理解している。 ・適切な根拠となる情報を集め、意見と根拠、理由づけを整理している。 ・文や文章の中で漢字を読んだり書いたりしている。 ・実体験を基に書かれた作品の魅力に触れ、今後読みたい本を選んでいる。 ・今までに学習した知識・技能を生かして書いている。	・意見の内容や意見どうしの関係に気をつけて、話し合いの流れを整理している。 ・互いの意見の共通点や相違点、話し合いの論点を踏まえて質問したり反論したりし、振り返りにおいて自分の考えをまとめている。 ・教材文を自分の知識や経験と結び付けて読み、感想を伝え合っている。 ・書き初めを書く活動のなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。	・話し合いの流れを整理するときに必要なことを進んで考え、今までの学習を生かして話し合おうとしている。 ・今までの学習を生かして、積極的に単語の活用について理解しようとしている。 ・進んで互いの立場や考えを尊重し、学習の見通しをもって討論しようとしている。 ・学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。 ・本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを進んで知り、今までの学習を生かして感想を伝え合おうとしている。 ・積極的に習得した知識・技能を振り返り、今までの学習を生かして書き初めを書こうとしている。

九、「走れメロス」「文法3 付 属語」	10	◎抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 ◎登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈することができる。 ◎文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。） ◎根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果をj考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。 ◎単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解することができる。 ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	・作品中の漢語を和語に置き換えると、印象がどのように変わるかを考えている。 ・助詞・助動詞の働きや種類について理解し、文や文章で使われている助詞や助動詞の意味・用法を判別している。	・メロスや王の言動に着目して、考え方や心情の変化を読み取っている。 ・メロスの行動や考え方で共感できたところ・できなかったところを、自分の知識や経験と結び付けて考えている。 ・登場人物の人物像や表現のしかたなど、観点を明確にして作品の魅力を文章にまとめている。	・登場人物の言動の意味などについて粘り強く考え、学習の見通しをもって作品の魅力を文章にまとめようとしている。 ・今までの学習を生かして、積極的に助詞や助動詞の働きについて理解しようとしている。
十、「描写を工夫して書こう」「言葉3 話し言葉と書き言葉」「国語の学びを振り返ろう」「全国フォント見つけ隊」「職業ガイドを作ろう」	11	◎抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 ◎表現の効果をj考えて描写するなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。 ◎表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすことができる。 ◎話し言葉と書き言葉の特徴について理解することができる。 ◎意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。 ◎互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめることができる。 ◎表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすことができる。 ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。 ◎全国にはその地域に関係したさまざまなフォントがあることを理解し、身近な文字への関心を高めることができる ◎今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。	・これまでに読んだ物語や小説の表現を参考にして、場面の様子や人物の心情を表す表現を使っている。 ・話し言葉と書き言葉について、それぞれの特徴を理解し、表現する際にどのような注意が必要かを考えている。 ・これまでの学習活動における具体的な変化を抽象化してまとめている。 ・全国にはその地域に関係したさまざまなフォントがあることを理解している。 ・今までに学習した知識・技能を生かして書いている。	・読み手が場面の様子や人物の心情を具体的に想像できるように、表現の効果を考えながら描写を工夫している。 ・書いた物語を友達と読み合い、よい点や改善点を伝え合っている。 ・互いの考えを尊重しながら対話し、それを通して自分の考えを整理したり、価値づけたりしてまとめている。 ・自分の作品の読み手からのコメントを通して、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。 ・職業ガイドの新聞を作る活動のなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。	・粘り強く描写を工夫し、学習の見通しをもって物語を創作しようとしている。 ・今までの学習を生かして、積極的に話し言葉と書き言葉の特徴について理解しようとしている。 ・粘り強く国語を学ぶ意義を考え、今までの学習を生かしてコピーにまとめてクラスで交流しようとしている。 ・進んで全国にはさまざまなフォントがあることを理解し、学習の見通しをもって、写真の街並みに合うフォントを選んだり、理解したことや感じたことを交流したりしようとしている。 ・進んで習得した知識・技能を振り返り、今までの学習を生かして職業ガイドの新聞を作ろうとしている。

十一、「漢字3 送り仮名」「鍵」「国語の力試し」「季節のしおり」「コピーを書こう」	7	◎送り仮名に注意して、漢字を読んだり書いたりしている。 ◎抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 ◎詩を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 ◎類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解することができる。 ◎敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使うことができる。 ◎文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定のしかたなどを捉えることができる。 ◎観点を明確にして文章を比較するなどし、表現の効果について考えることができる。 ◎論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができる。 ◎根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。 ◎読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えることができる。(思・判・表B(1)エ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。 ◎今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。	・送り仮名に注意して、漢字を読んだり書いたりしている。 ・抽象的な概念を表す言葉に着目し、詩の中での意味を考えている。 ・類義語の意味や用法を比較し、文脈に応じてより適した語を選んでいる。 ・敬語の働きや種類を理解し、電子メールの下書きを推敲したり、文面を書いたりしている。 ・今までに学習した知識・技能を生かして書いている。	・自分の知識や経験と結び付けて、作者のものの見方について考えている。 ・「枕草子」の原文と、二つの現代語訳を比較して読み、文章の中心的な部分を捉えている。 ・「枕草子」の二つの現代語訳を比較して読み、表現の効果について考えている。 ・「卒業生に贈る言葉」についての野口さんの提案を論理の展開に注意して聞き、伝えたいことを捉えるときともに、自分の考えをまとめている。 ・気持ちや用件が的確に伝わるように電子メールを書いている。 ・読み手の立場に立ち、表現の効果を考えて電子メールを推敲している。 ・季節の言葉をなぞる活動のなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。 ・コピーを書く活動のなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。	・学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。 ・詩を読んで理解したことや考えたことを進んで知識や経験と結び付け、学習課題に沿って作者のものの見方について話し合おうとしている。 ・これまでの学習を生かして、それぞれの学習課題に粘り強く取り組もうとしている。 ・積極的に習得した知識・技能を振り返り、これまでの学習を生かして季節の言葉をなぞろうとしている。 ・積極的に習得した知識・技能を振り返り、これまでの学習を生かしてコピーを書こうとしている。
---	---	--	--	---	---